

# としょかん かいちょう 図書館 小正鳥 トリボン

さく 作・いしいしんじ え 絵・かげやまなおこ

## だい 3 話 とりぼん はじめてのおしごと

あさ 朝おきると、とりぼんはさっそくほんをひらきます。そして、よ読めるところだけ、ていねいに、ゆっくりめでお追っていきます。

とりぼんになりたてのころは、ずかんのむししゃしんや、きみえの木の絵を食べていました。さいきんでは、すこずつじをおぼえ、ほんかに書かれていることをよ読むだけでおいしく、おなかもここちよくふくらんできます。

きのうは「ごんぎつね」をよ読みました。かなしいのに、おいしく、おなかいっぱいです。きょうは「ぞろり」をよ読みました。げらげら笑い、やっぱりおいしく、おなかいっぱいです。

「ごちそうさまあ」

とほんをたなにもどし、ふとゆか床をみると、だんぼーるにふるかみの段ボールばこに古い紙のたばがつっこんであります。なんだかき氣になって、とりぼんはひょうしの表紙のつばさをひらき、ページをば

さばさ<sup>は</sup>羽ばたかせて、段ボール<sup>だん ぼー る</sup>ばこのふちにとまりました。

紙<sup>かみ</sup>のたば<sup>み</sup>に見えたのは、一冊<sup>いっさつ</sup>の古い本<sup>ふる ほん</sup>でした。表紙<sup>ひょうし</sup>ははがれ、ページ<sup>ページ</sup>は破れ<sup>やぶ</sup>、息<sup>いき</sup>をふきかけたらもう、ばらばらにこわれてしまいそう。きっとむかし、人気<sup>にんき</sup>があった本<sup>ほん</sup>でしょう。でもいまは、誰<sup>だれ</sup>の手<sup>て</sup>にもとってもらえない。トリボン<sup>とり ぼん</sup>のおなかが、きゅっと鳴<sup>な</sup>りました。

「ようし、まってるよ」

なにごとにも前向き<sup>まえむ</sup>なトリボン<sup>とり ぼん</sup>は、図書館<sup>としょかん</sup>の机<sup>つくえ</sup>から、のりとセロテープ<sup>せろ てーぶ</sup>をもってきました。こんなの使<sup>つか</sup>うのはじめてですが、先生<sup>せんせい</sup>がいつか、けいじばんのかざりつけを、これ<sup>なお</sup>で直す<sup>なお</sup>のをみたことがあります。

とりかかってみると、思<sup>おも</sup>っていたよりよっぽどやっかいでした。テープ<sup>てーぶ</sup>は足<sup>あし</sup>にからまるし、つばさのページ<sup>ページ</sup>がのりでくっつくし。それでもトリボン<sup>とり ぼん</sup>はあきらめません。段ボール箱<sup>だん ぼー る ばこ</sup>のなかの古い本<sup>ふる ほん</sup>を、くちばしでつくろい、爪<sup>つめ</sup>であわせ、一冊<sup>いっさつ</sup>の本<sup>ほん</sup>のかたちになおしていきました。

そのうち、まわりから声<sup>こえ</sup>がかかります。

「そこ、せびようしをおさえながら貼<sup>は</sup>るといいよ！」「テープ<sup>てーぶ</sup>でとめたすきまに、のりをつければうまくいく！」「そう、そのちょうし！」

たなからつぎつぎと声<sup>こえ</sup>がします。図書館<sup>としょかん</sup>の本<sup>ほん</sup>たち、また、ほかのトリボン<sup>とり ぼん</sup>たちが、おうえんしてくれているのです。トリボン<sup>とり ぼん</sup>はにっこり笑<sup>わら</sup>って、足<sup>あし</sup>とくちばしを動か<sup>うご</sup>かしつづけました。いろいろくっつけ終わった本<sup>お ほん</sup>に、ぱぱぱぱ、と羽<sup>はね</sup>で風<sup>かぜ</sup>を送<sup>おく</sup>ってかわかし、さいごに赤<sup>あか</sup>いペン<sup>ペン</sup>をもってきて、表紙<sup>ひょうし</sup>に、おぼえたての字<sup>じ</sup>で題名<sup>だいめい</sup>を書<sup>か</sup>きました。

もう、おなかパンパン<sup>ぱん ぱん</sup>です。

おひるやす とりぼん  
お昼休み、トリボンはたなできゅうけい中。ちゅう おとこ こ はし  
男の子がひとり、走ってきて、

あか だいいい ほん  
赤い題名の本をみつめました、

「こんなの、はいったんだ！」

そして、ぱらぱらとめくってから、

か  
「借一りよっと」

せんせい てーぶる  
先生のテーブルにもっていきました。

とりぼん ほん としょかん  
トリボんがなおした本、こんど図書館で、さがしてみてくださいね。ちょっと  
ま 曲がった、あかペン じ  
赤ペンの字がめじるしです。



せいさく としょかんかつようぶかい  
(制作：図書館活用部会)